

平成 16年 3月期

## 第3四半期業績の概況(連結)

平成 16年 1月 27日

上場会社名 株式会社 ヤクルト本社

上場取引所 東証 大証

コード番号 2267

本社所在都道府県 東京都

(URL http://www.yakult.co.jp)

代表者 代表取締役社長 堀 澄也

問合せ先責任者 取締役 大坪 勝己

TEL (03) 3574 - 8960

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有 税金費用の計算などについては、一部簡便的な方法を採用しています。
- ②連結及び持分法の適用範囲の異動状況 : 無
- ③監査法人による監査は受けていません。
- ④連結子会社の決算日は12月31日であり、当該四半期実績は1月1日～9月30日の実績となります。

## 2. 平成16年 3月期 第3四半期の業績概況(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年12月 31日)

(1)連結経営成績 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年 3月期第3四半期	181,078	-	12,824	-	18,555	-
(参考)15年 3月期	242,740		21,618		29,383	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円 銭		円 銭	
16年 3月期第3四半期	12,729	-	72.75		-	
(参考)15年 3月期	14,383		80.88		80.87	

(注)四半期業績の開示は当期から実施しているため、対前年同四半期実績および増減率については記載していません。

## [経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、依然として厳しい雇用情勢や所得環境に、夏場の天候不順が重なり、個人消費は停滞を続けたものの、企業収益に回復の動きが見られたほか、株価の復調とそれに伴う金融システム不安の後退もプラス材料となり、景気回復が期待される状況で推移しました。

このような状況のなかで、当第3四半期の連結売上高は181,078百万円となりました。利益面においては、連結経常利益は18,555百万円、連結第3四半期純利益は12,729百万円となりました。

## (2)連結財政状態

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%		円 銭	
16年 3月期第3四半期	285,211		181,494		63.6		1,040.28	
(参考)15年 3月期	276,203		174,826		63.3		995.51	

## [財政状態(連結)の変動に関する定性的情報等]

当第3四半期連結会計期間末の総資産は285,211百万円、負債は89,139百万円となりました。

なお、株主資本は181,494百万円となり、株主資本比率は63.6%となりました。

## (3)連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 56 社 持分法適用非連結子会社数 0 社 持分法適用関連会社数 3 社

## 3. 16年 3月期の連結業績予想(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 16年 3月 31日)

業績は概ね中間決算発表時の予想どおりに推移しており、業績予想の変更はありません。

(添付資料)

1. 要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期 (平成15年12月31日現在)	前連結会計年度 (平成15年 3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	151,648	147,620
固定資産	133,562	128,582
資産合計	285,211	276,203
(負債の部)		
流動負債	66,235	61,725
固定負債	22,903	26,233
負債合計	89,139	87,959
(少数株主持分)		
少数株主持分	14,577	13,417
(資本の部)		
資本合計	181,494	174,826
負債、少数株主持分 及び資本合計	285,211	276,203

2. 要約連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期 自平成15年 4月 1日 至平成15年12月31日	前連結会計年度 自平成14年 4月 1日 至平成15年 3月31日
売上高	181,078	242,740
売上原価	81,801	112,005
売上総利益	99,276	130,735
販売費及び一般管理費	86,452	109,116
営業利益	12,824	21,618
営業外収益	7,260	9,944
営業外費用	1,529	2,179
経常利益	18,555	29,383
特別利益	6,105	1,953
特別損失	2,527	5,397
税金等調整前四半期(当期)純利益	22,133	25,939
法人税等	7,982	9,698
少数株主利益	1,422	1,858
四半期(当期)純利益	12,729	14,383

当第3四半期  
(百万円)

前連結会計年度  
(百万円)

1. 営業外収益の主要項目

受取利息	944	990
ロイヤリティ収入	1,816	3,593
持分法による投資利益	2,589	2,680

2. 営業外費用の主要項目

支払利息	291	468
------	-----	-----

3. 特別利益の主要項目

厚生年金基金代行返上益	5,907	—
-------------	-------	---

4. 特別損失の主要項目

退職給付引当金繰入額	2,350	3,941
------------	-------	-------

(参考1) 当該四半期の販売実績を事業の種類別ごとに示すと次のとおりです。

(単位:百万円)

事業の種類	平成16年3月期 第3四半期		参考 平成15年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比
飲料および食品 製造販売事業	157,023	86.7%	207,261	85.4%
医薬品 製造販売事業	12,210	6.8%	21,045	8.7%
その他事業	11,843	6.5%	14,433	5.9%
合計	181,078	100.0%	242,740	100.0%

(参考2) 当該四半期の販売実績を所在地別ごとに示すと次のとおりです。

(単位:百万円)

区分	平成16年3月期 第3四半期		参考 平成15年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比
日本	150,676	83.2%	204,365	84.2%
米州地域	17,452	9.6%	23,236	9.6%
アジア・オセアニア地域	6,427	3.6%	7,295	3.0%
ヨーロッパ地域	6,522	3.6%	7,843	3.2%
合計	181,078	100.0%	242,740	100.0%

(注)所在地間の取引については相殺消去しています。

#### [売上高に関する補足説明]

##### ・飲料および食品製造販売事業部門

乳製品については、主力商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」およびソフトタイプヨーグルト「ピュアラ」を中心に、全体としては順調に推移しています。

また、ライトタイプ(甘さひかえめ・低カロリー)の乳製品乳酸菌飲料「ヤクルトLT」も平成15年10月にパッケージデザインを一新してリニューアル発売し、好調なスタートを切りました。

ジュース・清涼飲料については夏場の天候不順や他社商品との競合激化等の厳しい環境の中で、平成15年10月以降は、健康機能性食品が好調に推移していることに加え、同年9月から始まったキリンビバレッジ株式会社との自動販売機における製品相互販売に関する提携効果もあって実績は上向きに転じており、上期の遅れをとり戻しつつあります。

海外については、米州地域においてブラジルの販売本数減少の影響があるものの、アジア・オセアニア地域、ヨーロッパ地域ともに順調に業績を伸ばしており、全体では好調に推移しています。

なお、中国においては、現在広州ヤクルトから商品供給をしている上海地区の需要が増加していることと、上海以北での販売エリア拡大を図るため、平成16年春に現地に新会社を設立し、併せて同年夏以降には「ヤクルト」製造工場の建設に入る予定です。

海外の販売実績は、平成15年度の一日当たり平均販売本数で約1,484万本となっています。

##### ・医薬品製造販売事業部門

医薬品については、国内外において「カンプト注」に重点をおいた販売活動を展開し、国内向けについては前年同期を上回る実績で推移しているものの、海外向けについてはファイザー社によるファルマシア社統合に伴う事業再編過程で、同社向けの売り上げが一時的に停滞していることが大きく影響し、平成15年7月以降、厳しい状況で推移しています。

##### ・その他事業部門

化粧品については、平成15年9月、基礎化粧品「パラビオ」シリーズに追加発売した「パラビオ ACクリーム エクストラ」が売り上げ増に大きく貢献したほか、「薬用ハンドクリーム」の追加発売によって品揃えを強化したポッシュママシリーズも好調に推移するなど、化粧品全体としては堅調に推移しています。

(参考3)平成16年3月期第3四半期売上高(個別)の状況は次のとおりです。

	平成16年3月期 第3四半期	平成15年3月期 第3四半期	対前年同 四半期増減率	参考 平成15年3月期
売上高	百万円 118,642	百万円 123,976	% △ 4.3	百万円 160,826

(品目別内訳)

(単位:百万円)

	平成16年3月期 第3四半期	平成15年3月期 第3四半期	対前年同 四半期増減率	参考 平成15年3月期
乳製品	60,495	59,009	2.5 %	77,218
ジュース・清涼飲料	33,669	36,610	△ 8.0 %	47,387
化粧品	5,350	5,222	2.5 %	6,655
医薬品	12,210	16,726	△ 27.0 %	21,045
その他	6,916	6,407	7.9 %	8,519
合計	118,642	123,976	△ 4.3 %	160,826

以上